opusdei.org

# 精神

オプス・デイは、仕事や家庭 生活など、日常生活のあらゆ る場面において、キリストと 出会うように援助します。

### 2013/11/24

洗礼を受けた人はみな、イエス・キリストに従い、福音の教えを生き、福音を人々に知らせるよう招かれています。オプス・デイの目的は、この教会の福音宣教の使命に貢献するため、生活の日々の状況、特に仕事の聖化を通して、信仰に合致した生き方をするよう、あらゆる条件のも

とにいるキリスト者を励ますことで す。

オプス・デイの精神の特徴をいくつ か挙げてみましょう。

神との父子関係

洗礼によって人は神の子となりま す。キリスト教のこの基本的な真理 は、オプス・デイの精神の中でも根 本的なものです。創立者は、「神と の父子関係はオプス・デイの精神の 根本です」と教えていました。オプ ス・デイの提供する形成を受けてい る信者は、神の子としての身分を生 き生きと自覚し、それに従って日々 の生活を営みます。それは、神の摂 理に対する信頼、(複雑でないとい う意味での) 単純な心、人間の尊厳 への尊重、兄弟愛、キリスト者とし て神が望まれるような世界を目指し ながら現実に即した本物の愛を持 ち、落ち着きと楽観をもって生きる ことに表れます。

#### 日常生活

#### 仕事の聖化

仕事において聖性を追求するとは、 プロ意識とキリスト者としての自覚 をもって、仕事をより良く成し遂げ ることです。つまり、神への愛と 人々のへ奉仕として、仕事を果たす ことです。このようにして、日常の 仕事はキリストと出会う場と変わる のです。

オプス・デイの精神は、日常生活を 聖化するための努力を持続すること ができるよう、祈りと償いに励むよ う勧めます。そこで、オプス・デイ の信者は、念祷や毎日のミサ聖祭、 ゆるしの秘跡、ロザリオ、霊的読 書、福音書の黙想などを生活に組み 入れて熱心に実行します。中でも聖 母信心を大切にします。イエス・キ リストに倣うために犠牲を実行しま すが、特に義務を果たしやすくする 犠牲や人々の生活をもっと快くする ための犠牲、さらに小さな満足を放 棄することや教会が一般的に薦める 断食、献金を大切にしています。

#### 生活の一致

創立者は、社会で働くキリスト者は 「一方では、内的生活、神との関係 を保つ生活を営み、他方では、それ とは関わりがないように過ごす全く 別な家庭生活や職業、社会生活を送 るというような二重生活をすべきではありません」と語っていました。 そして、「あるのはただ一つ、霊と肉からなる生活です。このたったーつの生活が、霊魂と体ともに、聖化され、神に満ちたものとなるべきなのです」と、教えていました。

## 自由を愛する

オプス・デイの信者は他の市民、 自分と同等の人々とまったの同じ義務を負っていての を享受し、同じ義務を負っていての を享政治や経済、文化にをしていての はないまた個人的に関してとは はならの決定をきるにといる また、また、それを信仰とも また、また、と主張する また唯一の決定と自由と ます。他人の自由と ます。

愛徳

キリストを知る人は宝を見つけたの であり、この宝を他の人々と分けち 合わずにいられないものです。キリ スト信者はイエス・キリストの証し 人であって、キリストの希望の教え を、模範とことばを通して、親戚や 友人、同僚の間で広めて行きます。 創立者は、「同僚や友人、親戚たち と同じ望みをもって、共に働くと き、私たちは彼らをキリストのもと へと導くことになるのです」と教え ていました。キリストを人々に知ら せたいという熱意があれば、自然に 人々の物質的な必要を満たす努力や 周囲の社会問題を解決したいという 望みとなって表れます。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/jing-shen/ (2025/12/18)